

歴史	[REDACTED]	教科用図書選定にかかる学校調査会調査用紙	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
東書					
<p>1. 大阪府教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点</p> <p>章末のページと次の章初めのページにおいて年表が続けて確認できるよう工夫されている。この年表は日本だけでなく「東アジア」「欧米など」も掲載されており世界史と日本史を比較しながら学習できる内容となっており、「グローバル化が進む国際社会」に関心を持たせるよう配慮されている。本校では「思考力」「判断力」「表現力」を育成するため、生徒が自ら調べ、まとめるような活動や生徒の自学自習を進めているが、その際、記載内容の多さについては配慮を要する。《⑥》</p>					
<p>2. 教育基本法に基づく観点</p> <p>コラムを非常に多く掲載し、中でも「女性コラム」としてそれぞれの時代の女性の姿を紹介することで「伝統と文化を尊重する」態度を養う工夫がされている。コラムも「エルツール号遭難事件」、「命のビザ」、「中国の経済発展」など「国際社会の平和と発展に関する」内容も多い。《⑥》</p>					
<p>3. 学習指導要領に基づく観点</p> <p>章末で学習のまとめとして時代の特色をとらえるための様々な学習課題が設定されている。課題も「ディスカッションを行う」「比較表でまとめる」「年表でまとめる」などバリエーション豊富である。これらは歴史的事象について生徒同士が意見を交換したりするなどの学習が重視されており評価できる。ただ、見開きごとに設定されている学習目標とまとめとしての学習課題については、学習課題のほとんどが「～を説明しよう」という設定が多くこれは生徒の思考力、判断力、表現力を育成するためには適切な課題ではあるが、しかし、基礎的・基本的な内容の学習課題が少なく、生徒の発達段階において多様な生徒への対応という点では配慮を要する。《④・⑦》</p>					
<p>4. 外的要素に関する観点</p> <p>資料、地図、写真などは非常に鮮明に印刷されており色彩も豊かで生徒が親しみやすい装丁となっている。資料の掲載も原寸大で表示したり、原寸大が表記できないものはできるだけ実際のサイズがわかりやすくしたりするなどの工夫がされている。しかし、一方では、教科書の見開きに掲載される資料数が多く、実際の授業の中で生徒が集中して資料から歴史事象を読み取る活動を行う際には配慮を要する。《③》</p>					
<p>5. 構成・配列に関する観点</p> <p>「分野関連マーク」を配置し、地理的分野・公民的分野との関連を意識しながら学習できる工夫がされている点については高く評価できる。見開きごとの配置も学習課題があり、学習課題に関する資料が常に課題の前にくるよう配置されているので資料をもとに生徒が主体的に学べる構成となっている。しかし、本文や図版資料に関する注釈が多く、生徒の思考力を育むには配慮を要する。《①・③》</p>					
<p>6. 資料その他に関する観点</p> <p>巻末年表の掲載事項が細かく、ふりかえりを行う際には非常に活用ができる。索引に掲載されている人物数、事項数ともに掲載事項数が多い。資料、統計などは見やすい工夫や興味関心を引くものが多いが、掲載数も多く、資料をじっくりと読み込む学習には工夫を要する。《②》</p>					

歴史	教科用図書選定にかかる学校調査会調査用紙						
教出							
<p>1. 大阪府教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点</p> <p>各章のまとめとして「学習のまとめと表現」が設定されている。ここでは、日本の動きと世界の動きを年表で比較してまとめるような学習活動があり、「グローバル化」が進む国際社会の中で世界史の項目も自然と理解ができるように工夫されている。また、「地域から歴史を探ろう」などテーマ別に歴史を多面的・多角的に考察させる学習が設定されており、学力向上が期待できる内容となっている。本校の分野別学習においてグローバル化に向けた教育実践を進めていくうえでも適切な構成となっている。《⑥・⑧》</p>							
<p>2. 教育基本法に基づく観点</p> <p>「歴史の窓」というコラムが24ヵ所掲載されており、それぞれ生徒の興味・関心を高める内容となっている。このようなコラムを読むことで、歴史を身近に感じさせるとともに先人たちの知恵を学ぶことができ、伝統と文化を尊重する態度や国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる。《⑤》</p>							
<p>3. 学習指導要領に基づく観点</p> <p>小学校と中学校で習う人物を色分けで提示したり、見開きごとにカラーの西暦軸を掲載したりするなど、生徒の発達段階を考慮して、基礎的・基本的な歴史的事象が身に付くようさまざまな工夫がなされている。「ふりかえり」ではステップ1で基礎的・基本的な歴史的事象の確認を行い、ステップ2では歴史的事象についての説明や話し合いなどの活動に段階的、系統的に取り組むことができ、思考力・判断力・表現力を育成することができるように配慮されている。本校が高等学校と連携した教育を進めていくうえで活用しやすい構成となっている。《⑥・⑦》</p>							
<p>4. 外的要素に関する観点</p> <p>教科書のページを時代ごとに色分けしたり、見開きごとにカラーの西暦軸を掲載したりして生徒が分かりやすく歴史学習ができる工夫が多い。地図はできるだけ大きく掲載をされており、地理的分野と歴史的分野を関連して学習ができる内容となっている。また、資料は詳しい説明を加えずに、生徒自らが資料から歴史的事象をくみ取れるよう配慮されている。《③》</p>							
<p>5. 構成・配列に関する観点</p> <p>「第1章 歴史の移り変わりを考えよう」が配置されており、この単元では小学校での既習事項の復習を行い、さらに「年表の見方」、「絵画資料の見方」、「系図の読み方」など、生徒が歴史学習に主体的に取り組み、歴史的技能が身に付くよう工夫がなされている。《③》</p>							
<p>6. 資料その他に関する観点</p> <p>文化財等の写真に「国宝」、「世界遺産」の表示がされ、また本文中との語句との関連を青字の番号でわかりやすく表示されている。また、2014年の写真を掲載するなど、最新の資料が多く、現代社会のさまざまな事象について、生徒が理解しやすいよう資料に工夫がなされている。《①・②》</p>							

歴史	[REDACTED]	教科用図書選定にかかる学校調査会調査用紙	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
清水					
<p>1. 大阪府教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点</p> <p>「地図でみる世界史」という項目があり（「ローマ帝国と漢」、「イスラーム帝国と唐」、「モンゴル帝国の拡大」など）世界史について地理的分野とも関連させながら学習させることで、生徒が世界史に興味関心をもてるような工夫がなされ、「グローバル化が進む国際社会」に関心を持たせることができる。《③・④》</p>					
<p>2. 教育基本法に基づく観点</p> <p>「歴史のとびら」のページで「身近な地域を調べよう」という項目があり、自ら課題を設定し、身近な地域へとフィールドワークや聞き取り調査に出かけ、郷土の歴史に対する関心を高め、これらの学習を通して、「伝統と文化を尊重」する態度を育成することができる。《⑤》</p>					
<p>3. 学習指導要領に基づく観点</p> <p>章の初めにその時代のできごとや資料の図版が示され、生徒が興味・関心を持てるように工夫されている。また、「〇〇時代ってどんな時代？」と題する項目があり生徒が学習内容について予想をたてたり、その予想を助けるようなヒントも用意されており、生徒の発達段階を考慮した内容となっている。見開きごとに学習課題と学習のまとめが設定され、「～を説明しましょう」、「～まとめてみよう」という文章記述での設問が多く、生徒の思考力、判断力、表現力を育成するためには適切な課題である。《⑥・⑦》</p>					
<p>4. 外的要素に関する観点</p> <p>各本文ページを通じ、左右に資料を配置し、本文を中央にするなど、資料と本文が整理されて掲載されており、生徒にとっては読みやすく親しみが持てる。ただし、掲載されている地図、資料、図版などのサイズが小さいことについては配慮を要する。《⑧》</p>					
<p>5. 構成・配列に関する観点</p> <p>「地図で見る世界史」では、歴史的事象と地図との関連が取り扱われ、地理的分野と関連して学習ができる工夫がされている。《①・②》</p>					
<p>6. 資料その他に関する観点</p> <p>資料、統計などの本文中の配置についてはどのページも共通しており、生徒にとっては見やすいものになっている。《①・②》</p>					

歴史		教科用図書選定にかかる学校調査会調査用紙			
帝国					
<p>1. 大阪府教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点</p> <p>巻末の年表において「日本と海外の交流」という項目で相互の交流について資料を用いながらわかりやすく提示され、「グローバル化が進む国際社会」に生徒が興味・関心を持てるような工夫がされている。《⑥・⑧》</p>					
<p>2. 教育基本法に基づく観点</p> <p>巻頭に「日本各地の伝統行事と祭り」というページを設定しており、伝統行事の写真を多く掲載し「伝統と文化を尊重」する態度を養うことを明確に打ち出している。《⑤》</p>					
<p>3. 学習指導要領に基づく観点</p> <p>章の初めなどに、「タイムトラベル」という学習課題を設定している。これらは図版資料の中から、その時代の特色を予想させるものであり、この学習を通して「思考力、表現力、判断力」の育成は効果的である。また、資料から歴史的事象を読み取る技能を高めることもできる。本文中の語句には、「タイムトラベル」と関連するものに赤字で番号が付けられており、単元ごとの学習でもこの「タイムトラベル」が活用できるよう工夫されている。《⑥・⑦》</p>					
<p>4. 外的要素に関する観点</p> <p>本文ページ上部に、学習課題にかかわる図版が大きく配置され、学習課題が明確に示されている。資料、地図、写真などは非常に鮮明であり生徒が親しみをもって学習できるようになっている。特に、地図が多く用いられており、サイズも大きく掲載され学習しやすい。《⑧》</p>					
<p>5. 構成・配列に関する観点</p> <p>地図が多くページで掲載されているので、地図上で歴史事項を確認するなど、地理的分野と関連付けて学習しやすいように配慮されている。既習事項が確認できるよう、各時代の冒頭の「タイムトラベル」に「小学校で学んだこと」としてまとめられている。基礎的・基本的な歴史事象を確認しやすく工夫がなされている。《③》</p>					
<p>6. 資料その他に関する観点</p> <p>地図が多く掲載されており、その地図も色彩豊かで見やすい工夫がなされている。統計資料なども比較的新しいものを掲載しており、本文と関連付けて学習を行うことができるよう工夫されている。《①・②》</p>					

歴史		教科用図書選定にかかる学校調査会調査用紙			
日文					
<p>1. 大阪府教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点</p> <p>各編の最初に「地図で見る世界の動き」という見開きページを設けている。世界の動きを地図上で確認させることで、「グローバル化が進む国際社会」に関心を持たせることができる内容となっている。《⑥・⑧》</p>					
<p>2. 教育基本法に基づく観点</p> <p>教科書の巻頭に「歴史との出会い」として、「文化財にふれる」、「人に学ぶ」、「現地を訪ねる」という記事を紹介している。その中で縄文土器や室町時代の能楽を取り上げており、歴史を学ぶ上で「伝統と文化を尊重」する態度を育成することができる。《⑤》</p>					
<p>3. 学習指導要領に基づく観点</p> <p>見開きごとに「学習課題」、「学習の確認と活用」が設定されており、授業の中で生徒たちが課題を意識して学習ができるようになっている。また「学習の確認と活用」では「確認」で基礎的・基本的な事項の確認ができ、さらに「活用」では「確認」で学んだことをもとに思考・判断・表現する課題が設定されており、生徒の発達段階に応じて学習の確認ができるように工夫されている。また、章ごとのまとめにおいても、それぞれの時代の特色を追究する課題が提示されており、学習内容の確かな理解と定着を図る配慮がなされている。《⑥・⑦》</p>					
<p>4. 外的要素に関する観点</p> <p>資料、地図、写真などは鮮明であり、位置なども適切である。資料などの数も豊富で生徒の学習活動を促すように工夫されているものの、1ページあたりに掲載される資料の量が多いためサイズがやや小さく、配慮を要する。《③》</p>					
<p>5. 構成・配列に関する観点</p> <p>地理的分野、公民的分野と関連することがらについては、脚注に「連携コーナー」として記載されており、他分野との関連が示され、さらに、「地図帳」・「小学校」等の注釈もあり地図帳を歴史的分野でも十分に活用する構成となっている。《①・②》</p>					
<p>6. 資料その他に関する観点</p> <p>資料、統計などの数も多く、また、本文中の配置については、どのページも共通している。《①・②》</p>					

歴史	[REDACTED]	教科用図書選定にかがる学校調査会調査用紙	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
自由社					
<p>1. 大阪府教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点</p> <p>コラム「外の目から見た日本人」では「幕末・明治期の日本人の生き方」、「世界が見た日露戦争」、「東日本大震災と日本人」など内容は多岐にわたっているが、国際社会から日本でのできごとがどのように捉えられているかといった視点は「グローバル化が進む国際社会」の中で多面的・多角的視点で物事を考察する力を育成することができる。《⑥・⑧》</p>					
<p>2. 教育基本法に基づく観点</p> <p>巻頭に「職人の技が生み出した 日本の伝統的工芸品」という特集を組んでいる。さらに、「もっと知りたい」のコラムでは、神話や伝承、浮世絵とジャポニズム、日本人の名字の由来などを取り上げ「伝統と文化」を尊重する態度を育成することができる。コラムの文章量も豊富である。《⑤》</p>					
<p>3. 学習指導要領に基づく観点</p> <p>見開きに、学習の課題と「まとめにチャレンジ」が提示されており、基礎的・基本的な歴史事象が身に付くよう配慮されている。また、章末のまとめでは登場人物たちの対話を通して、時代の特色をつかませるような工夫がなされており、生徒の思考力の育成に配慮され、さらに100字用語解説のページで生徒が主体的に自学自習し、学力の定着を図り、その確認を行うことができる。《④・⑦》</p>					
<p>4. 外的要素に関する観点</p> <p>資料、地図、写真などは鮮明であり、色彩も豊かで生徒が親しみをもって学習ができる。また、地図が数多く掲載されており、地理学習との関連が図られやすいように工夫されている。《③》</p>					
<p>5. 構成・配列に関する観点</p> <p>序章に歴史のとらえ方の学習が設定されている。ここでは「年代のあらわし方と時代区分」、「〇〇(人物)の歴史」を調べる、「人物を通して時代をとらえる」、「地域の歴史を調べる」など、これからの歴史学習を生徒が主体的に取り組めるよう、生徒が興味・関心をもちやすいテーマで歴史学習をスタートさせている。《③》</p>					
<p>6. 資料その他に関する観点</p> <p>資料、統計などは見やすく配置されており、資料の数も豊富である。各章末にできごとと年代、用語解説をまとめた「歴史豆辞典」のページが設けられており、学習内容を確認できるように配慮されている。《①・②》</p>					

歴史	教科用図書選定にかかる学校調査会調査用紙			
育鷗社				
<p>1. 大阪市教育局基本条例・教育振興基本計画に基づく観点</p> <p>各章の初めなどに、「このころ世界は」という特設ページを設けて、同じ時代に世界ではどのようなできごとがあったのか比較できるような工夫がされている。また、このページでは世界地図を掲載して、地理的分野の復習も行えるようになっている。世界史を意識しながら日本史を学習することによって、「グローバル化が進む国際社会」の中で必要となってくる知識を生徒が習得できる。《⑥・⑧》</p>				
<p>2. 教育基本法に基づく観点</p> <p>巻頭に「日本の美の形」という特集を組んでおり、ここでは各時代の文化遺産を紹介しながら日本の伝統文化を学習できるよう構成になっている。「歴史ズームイン」では、日本人の宗教観、神話や伝承、浮世絵などを取り上げているが、高等学校への接続・連携を進めていくうえでは工夫が求められる。《⑥》</p>				
<p>3. 学習指導要領に基づく観点</p> <p>章の初めに「海洋国家日本の歩み」、「鳥の目・虫の目でみる歴史」という項目があり、生徒が発達段階に応じて、興味・関心を持って歴史学習ができる工夫がされている。また章末には学習のまとめとしてその時代をふりかえって考える課題が提示されており、生徒が意見を交換したりしながら学習内容の確かな理解と定着を図ることができるよう配慮されている。《⑥・⑦》</p>				
<p>4. 外的要素に関する観点</p> <p>資料、地図、写真などは鮮明であり色彩も豊かである。配置されている位置も適切で生徒が親しみをもって学習できるよう工夫されている。特に、章の初めの「虫の目でみる歴史」の資料はその時代の特色をよく表している資料が選定されており大きさも適切である。図版に対する注釈が多く、生徒に考えさせたり、予想させたりするうえでは配慮を要する。《③》</p>				
<p>5. 構成・配列に関する観点</p> <p>「歴史にズームイン」や「なでしこ日本史」、「課題学習」など様々な学習課題を提示しており、生徒の主体的な学習を促すとともに、課題解決能力を培えるよう配列に工夫がなされている。《③》</p>				
<p>6. 資料その他に関する観点</p> <p>資料、統計などの本文中の配置についてはどのページもほぼ共通しており、生徒にとっては見やすいものである。《①・②》</p>				

歴史		教科用図書選定にかかる学校調査会調査用紙			
		学び舎			
<p>1. 大阪市教育局基本条例・教育振興基本計画に基づく観点</p> <p>各章の冒頭に、その章で扱う時代に関係する世界の情報を掲載している。「第8章 帝国主義の時代」の「変わる世界の女性たち」では、世界の主要な国々の女性の姿に視点を当てて資料をそろえ、グローバル化の深まりを意図させる工夫がなされている。また、各章のまとめにおいても、自分の考えを整理したり、基礎的・基本的内容の確認が設けられ、学力の向上について配慮されている。《⑥・⑧》</p>					
<p>2. 教育基本法に基づく観点</p> <p>我が国の伝統や文化に関する写真や資料を数多く提示し、視覚に訴える構成になっている。また、「田植え歌」など、民衆の生活から生まれた芸能や歌、詩などの資料が示され、その時代の民衆の生活が感じられるよう配慮されている。巻末には日本の社会・経済や文化・宗教と世界の動きを対比させた年表が掲載されており、国際社会に対する理解を促している。《⑥》</p>					
<p>3. 学習指導要領に基づく観点</p> <p>章末に「章をふりかえる」というまとめ学習が提示され、資料や地図を活用して学習を振り返るとともに、班での話し合いを通じて発表するなど学習課題の提示に工夫がなされ、時代の特色を追究するとともに、思考力・判断力・表現力を養うことができる。さらに「歴史を体験する」の学習では、「実験 火おこしに挑戦する」、「綿から糸をつむぐ」など、生徒の発達段階に応じて興味・関心を喚起する工夫がなされている。《⑥・⑦》</p>					
<p>4. 外的要素に関する観点</p> <p>教科書のサイズが大きく、資料、地図、写真などを数多く掲載している。各ページにその時代の特色を表す図版が大きく示され、生徒が興味・関心をもてるよう工夫がなされている。《⑧》</p>					
<p>5. 構成・配列に関する観点</p> <p>巻頭・巻末に歴史地図を配置しており、日本と世界の主な史跡などの位置が示され、現代の章末では祖父母への聞き取りなどの課題が設定されるなど、他分野との関連に配慮されている。《①・③》</p>					
<p>6. 資料その他に関する観点</p> <p>教科書のサイズが大きく、資料、統計などは見やすい。本文の上部に学習課題に関する図版が大きく掲載され、学習課題が明確に示されるよう配慮されている。《①・②》</p>					